

岐阜県小児科医会報投稿規定

1. 本誌は、岐阜県小児科医会の学術活動の一環として発行する会員誌であり、会員及び関係者に年1回配布される。
2. 本誌は、巻頭言、例会で発表された特別講演、一般演題の内容を文章化した解説的論文、会員より投稿された原著論文、症例報告、会員の相互交流を目的とする寄稿、講演会/勉強会記録から構成する。
3. 査読ありの原著論文、症例報告は和文のみとする。投稿者には、その内容が倫理的、医学的に妥当であることを求める。
4. 本誌の編集は医会編集委員会が担当する。採択に当たっては原則として2名の査読者に査読を依頼し採択を決定する。
5. 原稿は、電子媒体にて編集委員会に提出する。原稿は、要旨、本文、図（写真を含む）、表、文献から構成する。原稿の第1ページ目には、表題、著者全員の氏名、各々の著者の所属を記載する。
6. 原著論文、症例報告の原稿は、以下の要領に従って記載することとする。
 - 1) 現代かなづかい、常用漢字を使用。
 - 2) 学術用語は原則として日本小児科学会編小児科用語集 (http://www.jpeds.or.jp/pdf/yougo_2.pdf) による。
 - 3) 外国語は適当な日本語が無い場合に限る。その場合の外国語は、半角文字を用いる。
 - 4) 表題には略語を用いない。
 - 5) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限り、初出の際に省略しない語を記載し、括弧内に略語を示す。
 - 6) 原則として、外国人名は原語、薬品名は一般名で記載する。
 - 7) 図・表には、表題を付ける。
 - 8) 図・表には各々につきアラビア数字で番号を付す（図1、表1など）。
 - 9) 症例報告の場合、個人情報の取り扱いには十分は配慮を行い、顔写真を使用する際は、患者およびその親権者もしくはその法定代理人の許可を得ておく。できない場合は、患者の同定を不可能にする工夫をする。
 - 10) 数字はアラビア数字を用い、数量の単位は m, cm, ml, dl, kg, g, mg, mEq/L, mg/dl などを用いる。
 - 11) 文献は必要最少限にとどめ、記載順序は引用順とする。本文中の引用箇所では、その右肩にアラビア数字を記入する。文献の書き方は以下の形式による。
 - イ. 雑誌の場合：著者名. 表題. 雑誌名 発行年；巻：最初ページ-最終ページ.
 - ロ. 単行本の場合：著者名. 書名. 版数. 発行社の所在地名：発行社, 発行年.
 - ハ. 分担執筆による単行本の中の出典部分の引用の場合：著者名. 分担執筆部分の表題. 編集者名. 書名. 版数. 発行社の所在地名：発行社, 発行年；分担部分の最初ページ-最終ページ.
- ニ. 誌名は、指定の略名がある場合はそれを用い、ない場合は Index Medicus あるいは「日本医学図書館協会編 日本 医学雑誌名表」にあるものを用いる。
- ホ. 発行年は西暦を用いる。
- ヘ. ページは通巻ページを用いる。
- ト. 著者名は、3名まで全員を記載し、4名以上の場合は、「他」あるいは外国語文献の場合は「et al」を付記す。
- チ. 実例以下に示す。

1. Beltramin AU, Hertzog ME. Sleep and bedtime behavior in preschool-aged children. Pediatrics 1983; 71:153-158.
2. 鈴木義之. 細胞生物学からみた遺伝性酵素欠損症の病態. 日児誌 1984;88:405-408.
3. Cohen MM. The child with multiple birth defects. New York: Raven Press 1982.
4. 松永 英. 日本における遺伝性疾患の頻度. 日暮 眞編. 遺伝相談. 小児科 Mook 32. 東京: 金原出版, 1984: 1-11.
5. Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In: Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. Lymphocyte typing IV: white cell differentiation antigens. New York: Oxford University Press, 1989: 109-110.